

創造

JA いけだ
CREATION

今月の表紙は7月24日から始まった小麦収穫の写真です。(川合1圃場)



CONTENTS

- * 21NEWSアラカルト
- * 管理課より
- * みどりの食料シスムテ戦略
- * 給油課より
- * 生産資材課より
- * ベジタブルライフ
- * 畜産部通信
- * 石田邦雄の農業拾い読み
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2021.

8
AUGUST

No.140

施設課

令和3年度 豊穰・安全操業祈願祭

令和3年7月15日に令和3年産の農産物受入及び加工調整の「豊穰・安全操業祈願祭」が両センターにて執り行われました。

役職員並びに小麦生産委員会役員が出席のもと、池田神社岩崎宮司様により祭事が進められ、合併後最初となる小麦収穫の豊穰と、収穫、工場作業での安全を祈願して頂きました。



鈴木雅博 代表理事組合長による挨拶



池田農産センターでの様子

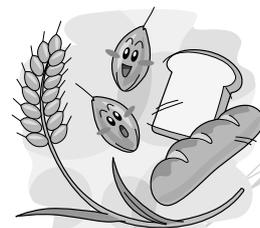
最後には鈴木組合長より「R3年産小麦は2,000ha以上の面積となり、14集団で41台のコンバインが稼働となります。事前調査では期待がもてる数字が出ており、合併後最初の収穫物となる小麦への期待は大きいものとなっています。くれぐれも事故が無く、無事受入が終了し全員で喜びがわかちあえるよう願います。」と挨拶致しました。

このご報告が皆さまの目に届く時には、収穫作業は終盤となっているかと思われます。両センター万全な体制での受入となるよう進めてまいります。どうぞ宜しくお願いします。

(記事・農産部施設課 課長 梶木和也)



高島支所農産センターでの様子



農 産 課

大豆摘心栽培
について

本年度より、大豆摘心機を2台導入し摘心栽培による安定生産に向けた取り組みを始めました。大豆の摘心栽培については、新JA農業振興計画プロジェクトの具体的な取り組みのひとつとして、大豆の普及・安定生産を目的としております。



研修の様子

大豆摘心栽培とは、大豆の主茎先端部分（生長点）を切除することにより、草丈の伸長を抑え倒伏を抑制し、分枝の発生を促すことができる栽培方法であり、出芽後の日照不足や雨が続く等で草丈が徒長するときに効果の発現が期待できます。

6月22日（火）に、池田、高島両センター構内にて「大豆摘心栽培講習会」を開催し、21名の大豆生産者の方々にご出席いただきました。講習会では、指導チームより大豆摘心栽培について説明させていただき、またヤンマーアグリジャパン株式会社より摘心機の取扱いについて説明をしていただきました。

池田地区6名、高島地区4名の大豆生産者より摘心機利用の申込みをいただきました。指導チームによる生育調査結果をもとに、7月7日（水）より各大豆圃場にて大豆摘心機による摘心処理がスタートしました。生産者のご協力もあり、機械の受け渡しもスムーズにいき、開花期前までに今回申込を頂いた生産者圃場の処理が無事終了しました。

秋には、品質の良い大豆が収穫されることを期待し、指導チームでは、定期的に生育状況を観察してまいります。

（記事・農産部農産課 課長 石丸 稔）



(左側) 作業後 (右側) 作業前



摘心機作業の様子



摘心機作業後 アップ

搾乳ロボットを見学している様子



食品加工サークル

食品加工サークル
視察研修

7月20日に女性部食品加工サークル視察研修を開催しました。

当日は30℃を超える暑さの中、会員13名参加のもと、牧場施設や工場などの見学をして研修して参りました。

最初に向かったのは清水町にある、とかちしみずフルーツガーデンにて、さくらんぼ狩りの体験。今年はどこの農園でもさくらんぼの収量が少なく他のフルーツに変更するかも心配されましたが、なんとか収穫できる分量を持ちこたえ、さくらんぼ狩りをみんなで楽しむことができました。

次にメインの視察先であります帯広市清川の榎十勝加藤牧場で、代表取締役会長の加藤賢一さんに説明と施設を案内していただきました。

加藤会長の実家は元々畑作農家であったのですが、近隣の酪農家の方から分けてもらって飲んだ牛乳が大変おいしくて、こんな牛乳を自分も作りたいという思いから、乳牛の飼育の仕方や牧草などの栄養管理を学んで1975年に牧場を開設しました。現在ではホルスタインとジャージー合わせて220頭ほどの牛を飼養しており、ジャージー牛は全体の3分の1を飼養しているそうです。なぜジャージー牛を飼養しているのかというと、ホルスタインと比べると乳量は70%ぐらいしか取れないが、乳脂肪分や無脂乳固形分、乳タンパクなどの成分含有量が高く、栄養がギュッと詰まった旨みのある牛乳が搾れるからだそうです。

普段ではなかなか見ることのできない搾乳ロボットも間近で見せていただきました。牛が乳が張って搾ってほしくなったら自分で搾乳ロボット内に入っていきそうで、ロボットは牛を感知したらブラシで乳頭や乳房を洗い、搾乳機がセンサーライトで乳頭の位置を探して全て自動的に搾乳をしてくれます。加藤牧場の牛は一日に平均で3.1回搾乳するそうですが、多い牛は5回も搾乳する牛もいるそうです。ただし、機械が全て個体管理もするそうで、個々の牛が1頭あたりどのくらいの乳量が出るかもわかりますし、飼料を食べるために搾乳ロボットに回って入ってくる牛もいるそうですが、前回搾乳されてから短時間で入ってきてしまった牛は機械が判別して搾らずそのまま出れるようにもなっていました。

敷地内には加工場も建てられており、チーズやバター、ヨーグルトやアイスクリームを製造できる施設がありました。奥の貯蔵庫には大きなゴーダチーズがあり、真空袋で管理されているものや、一般的な保存方法のチーズそのままの状態で白いカビ状のものが出来てきたら回しながらこすったりと2通りの保存方法でどのようにしたら美味しくなるかを確かめていました。牛乳もそうですが、加工品についても工夫をしながら美味しさの追及をして皆様に届けたいという想いが伝わり勉強になりました。

次にビート資料館に向かいました。映像展示室でてん菜に関する映像を視聴した後、一階の帯広製糖所模型を見ながら歴史の説明を聞きました。2階にあがると、部屋の中央にはビートの模型が飾られており、グラニュー糖や上白糖、三温糖などの砂糖の製造方法や色の違いを説明していただきました。また、砂糖を抽出した際に出来る副産物は、ビートペレットとして家畜の餌になるので、てん菜は捨てる部分の無い素晴らしい農産物だというお話も聞きました。今回、たくさんの勉強をすることが出来て大変良い視察研修となりました。

(記事・営農部営農企画課 豊原英梨)

今回導入したグラスシーダー



畜産課

牧草播種機を 新たに導入

本年6月、畜産部が本年より取り組む「新」草地更新3ヵ年運動の一環として、牧草播種機（グラスシーダー）が納品され、高島支所資材課にて保管・貸出が開始されました。

草地更新をより進め易くするため、JAが機械をリースにて導入したもので、牧草機械利用組合で管理を行う形となっております。同組合は家畜を飼養する組合員の皆様に、草地更新に必要な機械を共同利用していただくことを目的に平成30年、設立されました。同年、リースにて取得した「牧草播種機（グラスシーダー）」・「簡易更新機（ショートディスク・グリーンドリル）」・「K型ローラー」の3点に加えて今回、増台した形となります。

既存の3台は資材課にて、新たに導入した1台は高島支所資材課の協力により、それぞれ保管・貸出を行って参ります。なお、草地更新が本格化する8月～9月頃は利用の集中が想定されますので、お早めに畜産課まで利用申込をいただきますよう、お願いいたします。利用料や申込方法などは畜産課までお問合せ下さい。

（記事・畜産部畜産課 課長 米川 武）

施設課

令和3年産 ブロッコリーの 受入開始

6月23日から池田センターにてブロッコリーの受入が始まりました。

3名の組合員から多い日で1日約150ケース分のブロッコリーが入ってきます。

従業員4人体制でミニコンテナに入ったブロッコリーを1つ1つ余分な葉を切り、茎を切りそろえた後に選別し、規格別にダンボールに詰めていきます。

2℃の倉庫にて予冷をかけてから出荷となります。7月中は小麦受入前に一度収穫作業が終わり、8月にも同様に出荷・選別が行われます。

（記事・農産部施設課 櫻井 慶）





(左) 陶久保政氏、(右) 鈴木雅博代表理事組合長

管 理 課

千代田地区・陶久保政氏より 掛け時計を寄贈頂きました

令和3年7月20日に千代田北地区・陶久保政氏より農協に掛け時計を寄贈頂きました。

陶久氏から「時計が古くなってきたとお聞きしたので、役立てて頂ければ。」と鈴木組合長へメッセージと共に時計が手渡され、鈴木組合長からは「素敵な時計を寄贈頂きありがとうございます

ございます。大切に使用させていただきます」と御礼が伝えられました。

寄贈頂いた時計は農協本所事務所1階応接室に設置させて頂きました。この時計は音楽と動きで毎正時を知らせてくれる素敵な『からくり時計』となっております。組合員の皆様も本所事務所にお立ち寄りの際は是非ご覧下さい。この度は本当にありがとうございました。

(記事・管理部 部長 岡本富之)

年金友の会

合併後初の パークゴルフ大会開催

十勝池田町農協年金友の会（坪原民典会長）では、令和3年7月8日（木）に第48回パークゴルフ大会を清見ヶ丘パークゴルフ場において開催いたしました。今大会は合併後初の大会で



パークゴルフの様子



受賞者の皆様

【男性の部】優勝：加藤 武一さん

【女性の部】優勝：西村ハナ子さん

あり、池田地区28名、高島地区6名、計34名の会員の参加となりました。13時より競技開始、10組に分かれて柏・桜コース36ホールにて競技が行われました。今大会は初めて参加された会員の方も多く、熱戦が繰り広げられた中でも会員相互の親睦を深める事ができた大会となりました。

競技終了後は表彰式を行いお互いの健闘を称え合いました。参加者の皆様大変お疲れ様でした。成績は以下の通りです。

準優勝：野尻 信夫さん 第3位：平賀秀太郎さん

準優勝：加藤 智子さん 第3位：坪原 幸美さん

※次回大会は9月に予定しています。多くの会員の参加をお待ちしております！

(記事・信用部貯金共済課 課長 穴澤美都恵)

5 S 活動推進委員会

事務所窓清掃

7月16日（金）に5 S活動の一環として、池田・高島支所及び本所事務所の窓清掃を実施しました。

当日は外気温30℃に迫る中での窓清掃となりましたが、感染防止対策として職員間の距離を取りつつ、各部署職員協力のもと事務所の内、外に分かれて雨風によってたまっていた汚れを落としました。

今後も5 S委員会では職員による定期清掃活動を計画しており、ご利用されるお客様の満足感向上に努めてまいります。

（記事・5 S委員 杉 亮兵）



研修の様子



5 S 活動推進委員会

5 S 活動 研修会開催

令和3年7月14日に、5 S活動推進委員会において研修

会を開催致しました。今回は本年3月に2 J Aが合併したこともあり、約半数が今年から新たに5 S委員となったため、『5 S活動』の基礎からの研修を行いました。

広報にも毎月寄稿いただいている石田邦雄氏に講師を依頼し、5 Sとは何かといった定義から始まり、活動の目的とその効果などを委員自身も考え、お互いに共有致しました。また、活動の定着のためには何が必要か、定着しない職場の悪い例等も石田氏が研修で行った事業所などを具体例として挙げながら、講演をしていただきました。

活動の中身としては整理・整頓や清掃など当たり前と言えることかもしれませんが、だからこそ習慣化し定着させていくためには全員参加が重要となり、「誰かがやるだろう」という意識から、「気付いたら率先して行う」という意識へ変えていくことが大事とのことでした。

最後に、今回の研修を受けて5 S委員だからではなく、自分たちの職場をより良くするため、また、環境の整備は良い仕事に繋がるという意識をもって活動していきたいと思えます。

（記事・5 S委員 高野聖史）

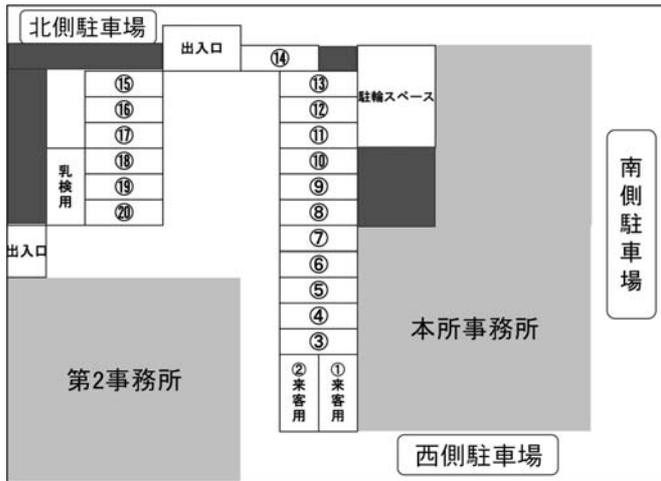


講師 石田邦雄先生

管理課より

本所事務所 北側駐車場整備しました

本所事務所北側駐車場の舗装工事が完了いたしました。お越し下さる皆様におかれましては、従来の南側、東側駐車場に加えて、北側・来客用駐車スペースも是非ご利用ください。



- ①・② 来客用
③～⑳ 公用車駐車場



みどりの食料システム戦略

我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地域コミュニティの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化等の課題に直面しており、地域の将来を見据えた持続可能な食料システムの構築が急務となっています。このため、農林水産省では、令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

詳しくは
こちら

みどりの食料システム戦略

検索

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>



問合せ先

農林水産省北海道農政事務所企画調整室

☎ 011-330-8801

(問合せメールフォームURL) ✉

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/4762.html>

農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課

☎ 03-3502-8056

農林水産省

給油課 よい



いつもご利用ありがとうございます。
 ホクレン利別セルフSSのPOSシステムが
 リニューアルされ、操作方法に若干の変更がご
 ざいますので、お知らせいたします。

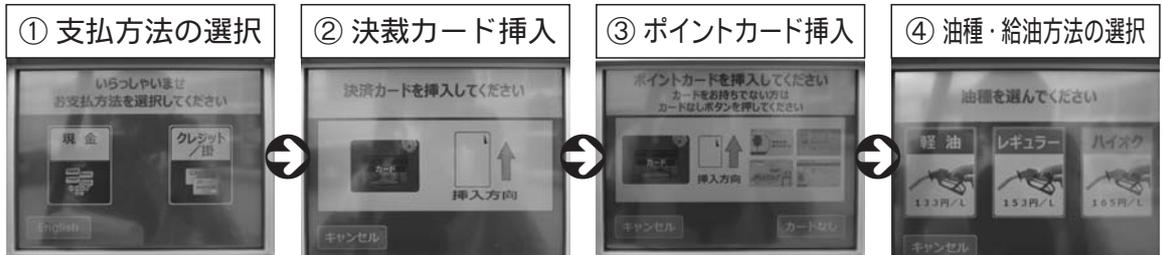
変更前
① 画面を操作しなくてもカード (決裁カード、ポイントカード) を挿入すれば次に進めた。
② 現金払いはお札のみ対応。
③ おつりのお札が1枚1枚出てくる。



変更後
① 必ず画面操作から始め、指示に従って挿 入お願い致します。挿入口のランプがつ いていない時は、挿入できません。
② お札に加え、硬貨支払いも対応可
③ 1度にまとめて出てくるようになりました。

【簡単な手順説明】※どちらのお支払い方法でも油種選択以降は、前取扱と同じです。

◆ 決裁カード払いの場合 ◆



◆ 現金払いの場合 ◆



※ ご不明な点がございましたら、
 お気軽にスタッフにお尋ねください！

今後も、さらなるご来店ご利用
 お願い致します。信頼され頼りにされる給油所を
 目指し、給油職員一同お待ちしております。



生産資材課より

「来年度用春肥料」 早期予約とりまとめを実施中です！

いつも資材課事業の運営にご協力頂き、誠にありがとうございます。

本年度の肥料価格につきましては、輸入原料の市況が高騰し、加重平均価格で前年対比、10.3%の値上げとなりますが予約申込みをいただくことで奨励の対象となり有利な価格により購入することができます。来春の引き取りでも奨励金の対象となりますので、是非ご利用下さい。

早期予約第1回目申込期日：令和3年8月31日

※ 第2回目申込期日 11月30日、この場合は上記奨励金単価が30円/20kgとなります

1. 早期予約引取奨励

- ① 対象肥料 系統の化成肥料、BB肥料
② 奨励措置 50円/20kgにつき（単肥は10円/20kgにつき）

2. フレコンバック奨励

- ① 対象肥料 上記の肥料で令和3年9月末までに引き取りされたフレコンバックに対して
② 奨励措置 20円/20kgにつき

3. 緩効性BB肥料・牧草追肥銘柄（合併特別奨励）

- ① 対象肥料 ビート BBUFS605 馬鈴薯 BBUFS859
コーン BBUFS508 野菜 BBS928L
牧草 BB363
② 奨励措置 20円/20kgにつき

4. 土壌診断費用の助成（合併特別助成）

- ① 御注文頂いた方に土壌診断の全項目費用3,000円の内の一部を助成いたします。
② 助成措置 1,000円/1点につき

5. 限月格差特別奨励

肥料価格は四半期毎に分かれており、肥料年度の始まる6月～9月が最も安く、翌年の4月～5月が最も高くなっています。当JAでは6月～12月までのお引き取りに対しては、最も安い6月～9月の価格でお渡しする特別奨励を実施しています。

<例> BBS943の引き取り価格（税別価格）

	6～9月	10～12月	1～3月	4～5月(当用期)
<通常の価格>	1,850円	1,880円	1,910円	1,930円
<農協奨励価格>	1,850円		1,910円	1,930円



ズッキーニ

人気急上昇！ 淡泊な味わいで使い勝手の良さが魅力

第13回

見分け方

ズッキーニのプロファイル

- 【分類】ウリ科
- 【原産地】アメリカ南部、メキシコ北部
- 【和名】つるなしカボチャ、ウリカボチャ
- 【おいしい時期(旬)】6~8月
- 【主な栄養成分】カロテン、ビタミンB・C、カリウム、カルシウム、食物繊維など

解説：KAORU



切り口が
変色してなくて
みずみずしい

張りつつやが
ある

太さが均一



抗酸化作用のある
カロテン、
ビタミンCが豊富

美肌や風邪予防
に効果的



カリウムが豊富で
高血圧予防にも◎

小ぶりの方が
柔らかくて
うま味があるよ

×

○

保存方法

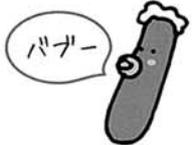
乾燥を防いで低温で保存
新聞紙またはラップに包んで
野菜室へ



皮が薄く
デリケートなので
傷つかないように
注意

ズッキーニのいろいろ

カボチャの一種「ペポカボチャ」の仲間
未熟果 未熟な状態を食用とするため
長期間の保存は利かないよ



ズッキーニは
果実が未熟なうちに
収穫

畑では
こんなふうに
成長するの



家庭料理に日常的に使おう



スープ
みそ汁

煮崩れ
しにくい

癖がなくて淡泊なので
どんな料理にも合うよ



天ぷら
炒め物

油との
相性が抜群

カレー
パスタ



キッシュ風卵焼き



火が通りやすいので
時短料理に◎



グラタン

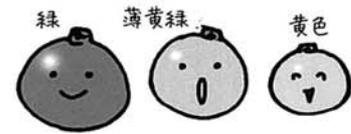
料理によって使い分け

長細形



切り方を工夫して
和洋中いろいろな料理に

丸形



オーブン焼き
中身をくりぬいて
形を生かした料理に



花ズッキーニ

開花直前に収穫した
花付きのもの

花の中に
チーズや肉を詰め
揚げた料理が定番

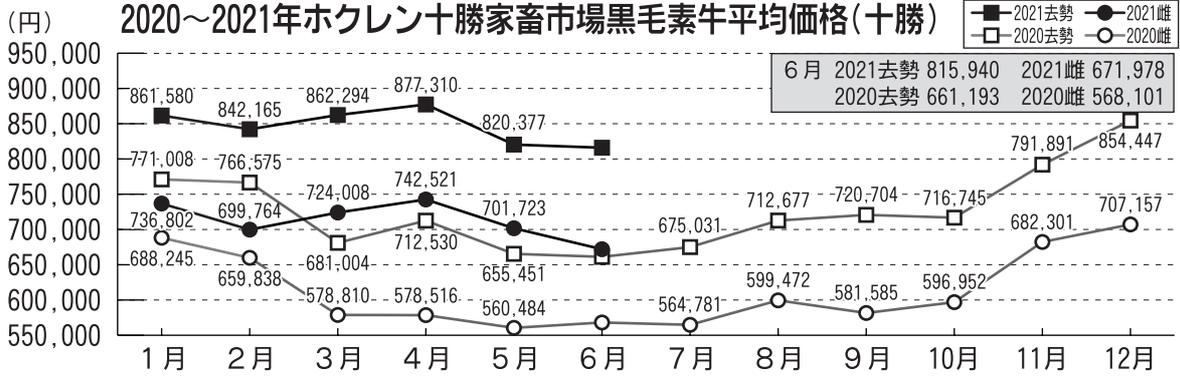


フリッター



畜産部通信

畜産部
畜産課



6月黒毛素牛出荷区分別成績

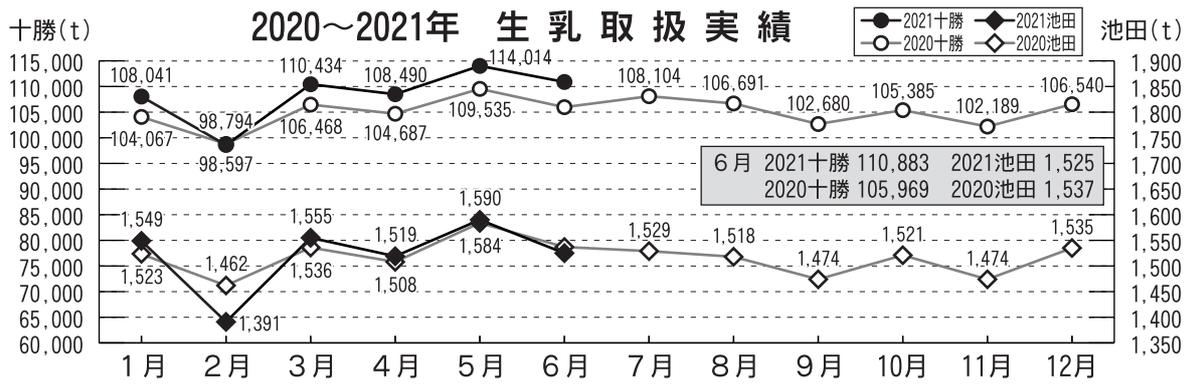
【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比	
去勢	十勝	和牛素牛	1,015	815,940	-4,437
	池田	和牛素牛	57	782,795	-33,821
雌	十勝	和牛素牛	945	671,978	-29,745
	池田	和牛素牛	59	652,598	-24,197

6月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
5日 19日	黒毛去勢	A-5	2,384
		A-4	2,181
		A-3	1,918
	黒毛雌	A-5	2,360
		A-4	2,137
		A-3	1,939
	F1去勢	B-3	—
		B-2	1,330
F1雌	B-3	1,390	
	B-2	1,270	



6月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2日	乳牛育成	484	409,848
9日	乳牛初妊	623	747,737
	乳牛経産	95	441,100

6月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	153,403	+ 14,773
F1オス初生	231,981	+ 35,923
F1メス初生	162,756	+ 20,442
廃用牛	209,371	+ 3,973



お互いに「エッセンシャル・ワーカー」としての自覚を

(有)石田コンサルタントオフィス

代表取締役

石田 邦雄



ようやくワクチン接種が始まり、私自身も残すはあと1度。集団免疫ができ、少しでもかつての生活に戻れることを願ってやみません。そうした中、国民に人流を抑制し、長い間の自粛生活を求める一方で、「TOKYO2020」が無観客ということでスタートをします。「五輪で世界を一つに」という思惑通りいけばよいのですが、矛盾するダブルメッセージにより、それが気の緩みを生み、コロナ禍の拡大に繋がらないようにと願うばかりです。昨年来のコロナ禍の対応をみていると、常に「五輪ありき」で、それが後だしじゃんけんのような形になり、ワクチン接種も他国と比べると極めて遅い。ここに来てまた予定されていた集団接種が配分の遅れから混

乱をしているようで。リスク管理の要点は「最悪のことを想定して」であるのに、そのチグハグさに「これが先進国なの？」と言いたくなっています。皆さんはどのように感じておられますか？とはいえず、オリンピックとなる選手の皆さんには、4年に1度の夢の晴れ舞台です。それを吹っ切る活躍を祈念しております。テレビの前で主催地である日本国民の一人として精一杯の声を、と思っております。

酪農ヘルパー養成研修がありませぬ。これは新得を初め、年に何度か開催をされ、私もその中でコミュニケーション関係の内容で講義をし、かれこれ20年あまりになります。それが昨年度は全く開催されず、この春もキャンセルの報告が酪農ヘルパー全国協会から届いたのが3月中ばのことでした。確か、ギリギリまで協会の方でも悩みぬいての結論だったのではと思っております。当面、DVDで学ばせるなどしてなんとかしのいでいるようですが、これをあてにしている利用組合等はヘルパー育成に頭を悩ませているのではないのでしょうか。例年は秋にも開催をされるのですが、このコロナ禍の流れからいくと、仮にワクチン接種が進んだにしても難しいかもしれ

れません。残念な事ですが、早晩、キャンセルの連絡がくるかもと思ったりしている私です。ところで今年の賀状の内、お世話になった母校の恩師から送られてきた文面を、今、改めて思い出しています。例年のように近況が印刷をされ、その余白には次のようなメッセージが書かれていました。「大変な時代ですが、エッセンシャル・ワーカー」として頑張ってください。体を第一にして」と。コロナ禍の中で頻繁に聞くようになった言葉の一つにこの「エッセンシャル・ワーカー」があります。医療の逼迫などを背景に医師や看護師等を主に形容し使われる言葉です。ちなみに「エッセンシャル」とは「必要」とか「不可欠」を意味します。私は先生がわざわざこれを使う意味を考えてみました。わが国における産業界では名が通っており、学会等でもよく発表等をしたりする著名の方です。確か、この言葉は私に発信しているようにみえて、実は先生が自分自身に対して発信しているのでは、と。

私もこれまでの経験で何度もありました。「この研修で感染でもしたら」と危機感を持ちながら講義をしたことが。でも考えてみて下さい。大小の違いがあつたにしても、皆この時代には感染と隣合わせでの仕事にならざるを得ません。業界や業種等の違いがあれ、仕事とは「世間の役立ちの為にある」のです。としたら、「不要な仕事はない」ともいえます。それで私は最近次の言葉をよく研修等で強調します。「皆がエッセンシャル・ワーカーの自覚を」と。改めてそうした仕事に対する誇りや使命感などに思いを寄せたいものです。ただ、医療の現場で日々、自分の命を賭して活動している皆さんには、このコロナ禍が終息をした折には、感謝をこめて、五輪に負けない金メダルをさしあげたい心境の私がいるのですが。次回には少しでも新型コロナを笑って話せる日々が戻っておりますように。



理事会の動き

第 6 回

〈令和3年7月21日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退及び資格変動について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 令和3年度組合員「作付面積・家畜飼養状況」について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 農産物の生育状況について
- (6) 労働災害事故報告について
- (7) 令和3年度買い取り豆類取扱要領について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の持分譲渡承認願いについて

★ 協 議 案 ★

- (1) お盆休業について
- (2) 生産集団等任意団体のクミカン利用について
- (3) 令和3年度緑肥作物導入事業
- (4) 貯金商品・サービスの見直しについて
- (5) 地区懇談会までの日程等について



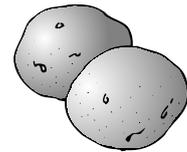
今月の1枚



馬鈴しょ 坪掘り調査

今月の1枚は馬鈴しょの坪掘り調査の様子です。

毎年7月下旬に坪掘りを行い、肥大状況と茎葉処理日の目安を調査し、生産者へお伝えしています。



新型コロナウイルスの影響が続く中で東京オリンピックが開催され、8月にはパラリンピックを控えています。医療従事者の皆様の支えがあつての今の状況であり、とても複雑な気持ちになりますが、純粋な気持ちで目指しているアスリートの皆様にも敬意を忘れず、家の中で応援したいと思えます。

今月の表紙では小麦収穫風景を撮影させていただきました。ご協力下さった組合員皆様に感謝申し上げます。その他の農産物につきましても撮影しに何えたらしく思っております。

さて、7月は雨が少なく、気温30℃超えが続き、「十勝管内が今夏全国で最高気温」とニュースを聞いたときには耳を疑いました。緑り返しにはなりますが、熱中症や農作業事故にはくれぐれもお気をつけ下さい。

(柳)

編
集
後
記